

夢大きく、力合わせて

升島 努

自分が担当しはじめて3年目が終わろうとしています。その総決算のつもりで、先日、第10回生体成分の分析化学シンポジウム（京都）に於いて、成果を発表しました。私はそこで、「これが私流の研究展開のやり方なのです。皆様よろしく願います。」そう言いたかったのです。

一つは洲崎さんが中心になって苦勞に苦勞を重ねた本当に3年間ゼロから築き上げた仕事、そして一つは、ビデオによるクロマトの分離過程の視覚化と解析だったのです。熱心に聞いて下さって、二人に質問して下さった大御所 田村善蔵先生、心からうれしく、心の支えになりました。他の方々からも手ごたえはありました。ともかく、ああこれで一区切り付いたという満足感を帰りの新幹線の中で感じました。

そして、最近、卒業生隅田君の田園通信原稿を見て、これに対する新聞記事を初めて見ました。新聞に書かれるなんて知らず、きっと記者が見て聞いて、あるいはどなたかが言われて書かれたに違いないのでしょう。でも、読んで思わず安心した様な、うれしい様な複雑な思いがしました。ああ少しは自分も苦しんだけど、これで良かったのかも知れないと、そして、ここまで立ち上げに苦しんできた洲崎さん始め、職員、そして、ともに過ごした学生の方達への感謝の気持ちが心を大きく占めました。

当初は、夢ばかり大きく、現実が遠く、いらいらする日々でした。しかし、最近では、いままでの教室の立ち上げのいらつきは、いつの間にか消えました。気がついて見ると、いつもそばで相談に乗って下さった杉山先生は、当学科の教授（中村先生の後任）に昇任され、この立ち上げに苦しんで、何とか教室をここまで押し上げてくれた森田、池田、洲崎、大田の四君が大きく成長してくれているのに気づき、目を細めて見えています。彼女達は皆、もう独立した研究者として立ち上がれる所にきているのです。

他にも、M1小林君、研究生栗村君の一人立ちしそうな気配、そしてひたむきで明るい、いい子揃いの4年生、そして、ジョーク連発の頑張り屋

Emara君、まじめなRazee君（イランから）、私は本当に恵まれていると思います。

卒業生のなかで、最近の大喜びは、福安君のゼロックス入社でした。明るく「この度ゼロックスに入った福安です。どうです、すごいでしょ先生！」と大げがの前の元気だった頃の、あの照れた様な独特の笑顔を取り戻し、冗談を連発する奇跡的とも言える彼の姿を見て、本当に狐につままれた様なうれしさを覚えました。どうか目のハンディーを乗り越えて、これからもその明るさを失わないで頑張り、皆の明るい星になって下さい。

教室の職員構成にも変動がありました。分離部門を一人で支え、Emara君の先生役もしてくれた森田幾江さんが、科技庁の特別研究員として東京に転出されました。教室の願いである、「色々な場で自分を鍛え、さらに大きくなる」を実現してくれる事を心から期待し、この十数年の本教室での滞在で、変な垢がしみついていたら、それを破り、輝きを増して行って欲しく思っています。その代わりにテンポラルに田村（旧姓高畑）さんが助手役を勤めてくれています。日頃色々と気を回してくれて助かっている彼女と、旦那さんの田村敦史君、和田君達と共にやったビデオによるHPLCの分離過程追跡は、意外な事実を発見、あとは最初に述べた通りです。

杉山先生の後任には、助手として、元 瀬川研の小澤孝一郎君を迎える事にしました。現在「細胞一個の生きたままでの分析法の開発」を進めている当教室では、細胞を扱ったことのあるものがおらず、皆ほとんど独学でやっています。また薬理的な側面も卒業生にとっては重要であろうと思ったからなのです。今、NIHで、プロテインキナーゼCについて世界的な研究をしている彼が加わり、また彼の独特の前向きの明るさと頑張りが、教室員全体を引っ張って行ってくれる事を心から願っています。

ともあれ、教室はこの様にダイナミックに変動しています。いいか悪いかは、歴史が決める事、ただ私はある時は鬼の様に思われようとも、職員や学生の人達とフランクに話し合っ、後は私の責任で、私が最終的に良いと思った事を、これからも進めて行くつもりでいます。

さて、最後は自分の事を言わないといけないのですね・・・。

最近、ごくごく近くの(目から10cm)ものに焦点が合わなくて意外に思い、背広を買いたいと、洋服屋の店長に相談して「やはりあなたはこの色(ほとんど黒い緑)がいいですね」と言われて、持ち上げてくれたのですが、ちょっとがっかりしました。この私にとっての意外な小事件はその後も少し心に残り、目の事は勉強不足の天罰だと思う事にしました。その後論文読みなど、ものを近くで見ると、最近また合う様になり、やはりな、と気を良くしている今日この頃です。そして、店員がなんと言おうと、自分のお金(選択)で買うもの、これも自分の人生の一瞬です。

たわやかな感性を大切に、自分なりのスタイルを今まで通り築いて行こうと思っています。楽しい人生にするために

おおきな夢を、失わないで進みたい。教室にはいつもそう思っています。

どんな夢も、大切に生きていきたい。自分にはそう願っています。

教室がいつまでも夢工場であり続けますように・・・

そして 自分も・・・

平成四年 秋



何もしない、ただ座っているだけの人（升島）